

環境活動ノート

活動名 推しの未来プロジェクト

さっぽろ
こども環境
コンテスト
2024

活動内容を
記入して
ください



①「推しの木プロジェクト」

私たちの学習は「推しの木プロジェクト」から始まりました。札幌市博物館活動センター学芸員の方に木や植物について教えてもらいました。外でフィールドワークも行い、植物の標本の作り方も教えてもらいました。7月の滝野宿泊学習では、学習したことを生かし、滝野で採集した植物の標本作りを行いました。また、SIAF（札幌国際芸術祭）のマネージャーの方や北海道教育大学の先生に協力していただき、自分だけの木をデザインするプログラミングに挑戦し、世界に1つだけのオリジナルの木を作りました。

7月の後半には『植物の魅力を伝える』という目的のため、自分たちで企画を考え、校内で「推しの木展」を開催しました。滝野で採取した植物の標本や写真、クイズの展示、プログラミングで作った木の映像が見られるコーナーを作り、広報活動も行った結果、校内外合わせてお客さんが500人以上来てくれました。同時に、Googleサイトで取組の様子や国語の学習で書いた植物に関する報告書も公開しました。

参加
団体名 札幌市立栄町小学校

- ☒ 小学生の部
- ☐ 中学生の部
- ☐ その他団体の部

当てはまるものにチェックしてください。

環境活動ノート

活動名 推しの未来プロジェクト

さっぽろ
こども環境
コンテスト
2024

活動内容を
記入して
ください



②「推しの森プロジェクト」

2学期からは木から森へと学習を広げ、林野庁の職員の方に林野庁のことや森についていろいろ教えてもらい、林野庁の方々にグラウンドの木の高さや幹の太さを測る体験もさせてもらいました。また社会の学習でも森について詳しく調べ、林業や森林を守るための取組について学びました。そして、11月の学習成果発表会は、『森について学んだことを分かりやすく伝える』ことを目標に取り組みました。スライドを使ったり、劇をしたり、クイズをしたり…とそれぞれのグループで表現方法を工夫し、セリフや動きを考え、台本を作り、自分たちが伝えたいメッセージ（森の現状について知ること、それを広めることの重要性）を他の学年や保護者に伝えることができました。

参加
団体名 札幌市立栄町小学校

- ☒ 小学生の部
- ☐ 中学生の部
- ☐ その他団体の部

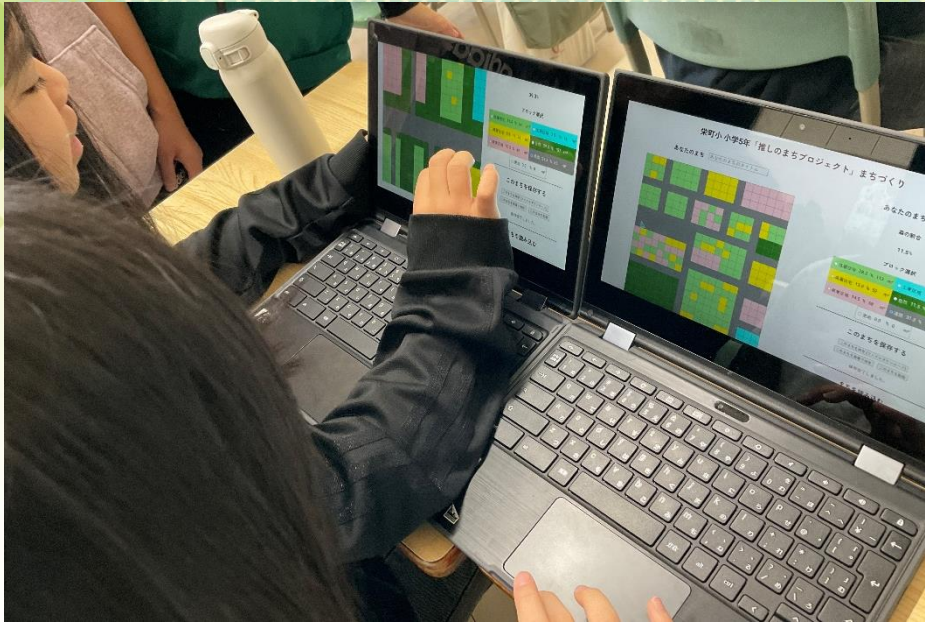
当てはまるものにチェックしてください。

環境活動ノート

活動名 推しの未来プロジェクト

さっぽろ
こども環境
コンテスト
2024

活動内容を
記入して
ください



③「推しのまちプロジェクト」

森の大切さを知り、10月には、森と共存したまちづくりについての学習へと発展していきました。札幌市まちづくり政策局都市計画課の職員の方にまちづくりについて教えてもらいました。まちづくりのルールを学び、実際に模型を使って、土地利用区分に従って建物を配置して、まちづくりを体験しました。その後、SETB（NPO法人）が開発したアプリを使ってプログラミングでまちづくりを行いました。まず、まちのコンセプトを決めて、理想のまちになるように区画を定め、その上に建物を配置していきました。木や森の学習を生かし、緑被率や人工林の配置などを意識しながらまちづくりを行っていきました。自分たちの思い描く未来につなげていくためには、「札幌市をこんなまちにしていきたい」という思いをもち、実現するために自分で考え、一歩踏み出すことが大切だと学びました。

参加
団体名 札幌市立栄町小学校

- ☒ 小学生の部
- ☐ 中学生の部
- ☐ その他団体の部

当てはまるものにチェックしてください。